

2ページから

大きな機械の部品を造っていました。

主な仕事は、舗装に使うアスファルトプラントの製造機械の部品を造ったり、メンテナンスといつて、故障したり調子が悪くなったら修理したりする仕事をしており、妹背牛の工場では、社名にある鋳物のマンホールのふたを造っているそうです。



このほか、ベルトコンベアの組み立てもしています。工場の大きな煙突や、長沼や手稲スキー場



のリフトの柱、富良野スキー場のロープウェイの柱なども造っています。

そして、こういったものは大量生産ではなく一つ一つが手作業で、同じものは作り造らないし、他にはない一品もののため、造った人は充実感があるとのこと。

これからは、藻岩山につけるケーブルカーの車台の足(レールのようなもの)を造る予定だそうです。

石黒鋳物製作所見学

記者:

恵庭小4年 奥美遊

アイスプラントという野菜は、氷のようなつぶつぶがついているのでアイスプラントというそうです。形も手触りも変わっていて、食べるとしよっぱくて、とても不思議な野菜です。

菜です。

工場ではベルトコンベアを組み立てているところを見ました。鉄を削る時に出る火花は熱くないのかなと思いました。

記者:

恵庭小2年 田口海

アイスプラントという野菜はすぐキラキラしててきれいでした。食べてみると、しよっぱくて、少し苦かったです。葉っぱが枯れてから花が咲くところが珍しいと思いました。

工場では、鉄を削ったり、くつつけたりしていました。その時に出る火花はオレンジ色と、青い火花です。

青い火花はそのま見ると目がちかちかするの、あまり見えないように言われました。

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

記者:

恵庭小4年 田口将

最初、「アイスプラント」と聞いた時は、雪でできていて、ロウソクの中にを入れるものだと思っていました。(編集部注:それは「アイスラント」です)でも実際は、塩味が

するという変わった野菜

でした。食べてみると、本当にしよっぱくてビックリしました。工場は天井がとても高く、大きな鉄のかたまりをクレーンでつって持ち上げていました。こんな大きなものを人の手で作るなんてすごいなと思いました。

記者:

柏小4年 三上佳珠

アイスプラントを作っているビニールハウスは、ちよつと寒かったです。もっと暖かい所で作っているのかと思っていたので、ビックリしました。

アイスプラントはしよっぱくて、なんだか不思議な感じがする味でした。

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

記者:

柏小4年 三上佳泰

アイスプラントは塩味が

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

かけたような味で、キャベツのすみの方の葉を食べたのに少しにっていました。

雪のつぶが葉についているようでした。サラダに入れるとおいしいと思います。

記者:

松惠小学校 本保森魚

アイスプラントは、さとうやしよっぱ、みそやコーラも吸うのか、やってみてみたい!

アイスプラントはたくさん栄養がありメタボにも良いそうなので、自分でも育ててみたいです。

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

記者:

恵庭小4年 三上佳泰

アイスプラントは塩味が

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

記者:

松惠小学校 本保森魚

アイスプラントは、さとうやしよっぱ、みそやコーラも吸うのか、やってみてみたい!

記者:本保智美

アイスプラントはたくさん栄養がありメタボにも良いそうなので、自分でも育ててみたいです。

石黒鋳物製作所データ

- ▼創業:昭和21年
- ▼本社:札幌市白石区
- ▼札幌工場:恵庭市北柏木町3丁目51番
- ▼仕事内容:グラウンドマンホールやアスファルトプラント「IAP」製造メーカーとしての実績と経験から、製品の委託製造、製作請負などの計画・設計から製作・施工まで幅広く対応。鋳造・機械加工・鉄骨・製缶・配管など、サポートできる範囲は広い。鋳物を作っているのは、現在は奈井江や妹背牛の工場。



次に工場に行きました。工場では、キューティーという音がひびいています。見つけると目が悪くなるという火花が見えました。作業をしている人に「ガンバレ」と思いました。

工場の仕事は、見ていると活気があって楽しいです。クレーンが重いものを

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

工場は、すごく広かったです。鉄を削っている人がいて、削っている鉄から火花が飛んでいて、それが人にモロに当たっていて熱くないのかなと思いました。花火みたいで綺麗でした。

▼2月3日【節分】

節分は、現在では立春の前日(太陽暦の2月3日か4日)をさしますが、もとはそれぞれの季節がおわる日、つまり立春、立夏、立秋、立冬

節分とい

えは豆まきですが、室町時代の京都で行われたのが最初で、やがて江戸時代になると、春をむかえる厄払いの行事として、諸国の神社や家庭にひろまり、年齢の数だけ豆を食べたりするようになりました。

▼2月11日【建国記念日】

もともとは1872年に紀元節という名前でしたが、まっただ記念日で、「古事記」「日本書紀」の記述にもとづき、神武天皇が即位した日といわれています。当初は1月29日が祝日でしたが、1973年に、太陽暦の採用にともなう措置として、期日を2月11

日に変更されました。

▼2月22日【猫の日】

「ニヤン(2)ニヤン(2)ニヤン」という猫の鳴き声の語呂合わせということ。猫の日で、猫の日制定委員会が1987年に制定しました。猫好き以外には関心がないかもしれない日。

▼2月26日【咸臨丸の日】

1860年、江戸幕府が派遣した使節団が、咸臨丸で太平洋を横断してサンフランシスコに到着した日です。

咸臨丸は、日米修好通商条約批准

のため使節団を乗せた日本初の本格的な洋式軍艦で、勝海舟や福沢諭吉らが乗船していました。



福沢諭吉は一万円札の肖像画の人です。



福沢諭吉は一万円札の肖像画の人です。



福沢諭吉は一万円札の肖像画の人です。

親子歳時記 2月

三上美香